

【企画展 7】

岩国徴古館の今までとこれから

1. 概要

岩国徴古館が担う役割や建物の特徴などを、今までの歩みとともにたどる。岩国徴古館の今後の展望についても紹介する。

2. 会期 令和6年3月10日（日）  
～5月6日（月）

ただし、月曜日休館（祝日の場合は、次の平日）、  
4月30日（火）は開館

3. 開館日数 19日（ただし、令和6年3月31日まで）

4. 入館者数 2,350人（ただし、令和6年3月31日まで）

5. 展示目録

No.	資料名	時代	備考
1章 岩国徴古館のあゆみ			
岩国徴古館の建設と立地ー吉川家との深い関係ー			
1	旧岩国城下図（横山）	明治時代初期	
2	吉川邸全景	明治時代後期	
3	周防国岩国横山鎮座 吉香神社之真景	明治31年（1898）	
4	吉川重吉公胸像	大正時代頃	
5	岩国学校改修前全景	昭和時代中期	岩国学校教育資料館
岩国徴古館という建物ー登録有形文化財としてー			
6	岩国徴古館パース	昭和17年（1942）	
7	岩国徴古館 建設写真	昭和20年（1945）頃	
8	岩国徴古館図面	昭和17年（1942）頃	
岩国徴古館、開始ー岩国の歴史を明らかにするー			
9	西湖遊覧志（写本）	寛文4年（1664）	
10	疱瘡遠慮定	宝暦8年（1758）	
11	岩国市史	昭和46年（1971）	
12	理水略	文化2年（1805）	
2章 現在の岩国徴古館の活動			
資料収集・保存ー過去の記録を未来に伝えるー			
13	東蕃蔵宛吉川経幹書状	江戸時代末期	
14	泰平中国御固附	元治元年（1864）	
15	防州岩国錦帯橋図	明治時代初期	
16	山水図	江戸時代中期	
17	鷺図	江戸時代中期	
18	琴	江戸時代末期頃	



19	吉川元春公書状	戦国時代	
20	うどん	昭和時代中期	
21	錦帯橋流出時写真一括	昭和 25 年 (1950)	
<u>22</u>	岩国徴古館第一収蔵庫・第二収蔵庫	明治時代中期頃建設	
23	錦帯橋埋納品	延宝元年 (1673) 頃か	
調査・研究—歴史を明らかにする—			
24	兵局ひかゑ	江戸時代末期	
25	御用所日記	慶応 2 年 (1866)	
26	岩邑怪談録	明治 43 年 (1910)	
27	東新右衛門宛吉川広家書状	江戸時代初期	
展示—資料の目に見える活用—			
28	赤禰武人絶筆	慶応元年 (1865)	
29	高杉和助 (晋作) 他六名斬罪状写	元治元年 (1864) 11 月頃	
30	玖珂郡志 一	享和 2 年 (1802)	
31	横山 御城之図	江戸時代中期	
32	源氏物語 (写本)	江戸時代頃	
33	源氏物語 (刊本)	承応 3 年 (1654)	
34	絵入智慧の環 初編上 詞の巻	明治時代初期	岩国学校教育資料館
35	酒造米石高公儀御附出留書	天保 9 年 (1838)	
36	中津居館出土銭	室町時代頃	
37	商売往来	天保 7 年 (1836)	岩国学校教育資料館
38	庭訓往来	江戸時代中期	
39	六十余州名所図会 周防岩国錦帯橋	嘉永 6 年 (1853)	
<u>40</u>	藤岡市助肖像写真	明治時代後期	岩国学校教育資料館
41	藤岡式電球	明治 27 年 (1894) 頃	岩国学校教育資料館
42	岩国電車軌道開通記念絵はがき	明治 42 年 (1909) 頃	岩国学校教育資料館
43	沢瀉先生自画自賛肖像	明治 21 年 (1888)	
44	名物押形	江戸時代頃か	
3 章 今後の岩国市博物館			
新博物館構想—未来に岩国の歴史を伝えるために—			
休館中の活動—動き続ける岩国徴古館—			

※資料番号に下線のあるものは、パネル展示

※備考欄に表記のない資料は、すべて岩国徴古館蔵

## 6. 関連行事について

### (1) 担当学芸員による展示解説

場所：岩国徴古館 第一展示室

日時：①令和 6 年 3 月 23 日 (土) 10 時～10 時 30 分

②令和 6 年 4 月 7 日 (日) 14 時～14 時 30 分

参加者：計 17 人 (3 月 23 日分のみ)

## 7. 刊行物 企画展記念缶バッジ 「吉川元春花押」 1 個 200 円